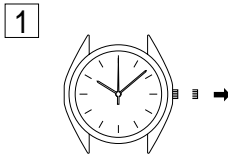


ご使用方法

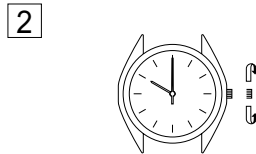
1. 日付表示のない時計の場合

日付表示つき時計の場合は6ページをご覧ください。  
日付 / 曜日両方の表示つき時計の場合は9ページをご覧ください。

<時計の合わせ方>



リューズを引き出すと秒針が止まります。図のように12時の位置に秒針を止めてください。  
**ネジロックタイプのモデル**はリューズを左に回してネジをゆるめ、リューズを引き出します。



リューズをまわして針を合わせてください。クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから、逆にもどすように合わせてください。



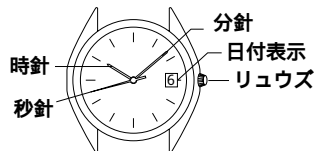
時報と同時にリューズを押し込んでください。時刻合わせは完了です。  
**ネジロックタイプのモデル**はリューズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

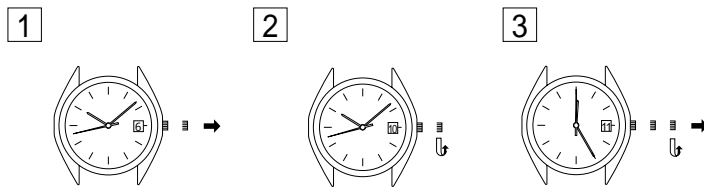
2. 日付表示つき時計の場合

日付表示のない時計の場合は4ページをご覧ください。  
日付 / 曜日両方の表示つき時計の場合は9ページをご覧ください。

<各部の名称>



<日付 / 時刻の合わせ方>

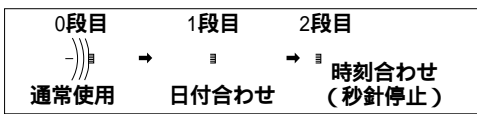


最初に日付を合わせます。リューズを1段引き出します。(秒針は動いています)  
**ネジロックタイプのモデル**はリューズを左に回してネジをゆるめ、リューズを1段引き出します。

リューズをまわして合わせたい日の前日の日付にセットしてください。

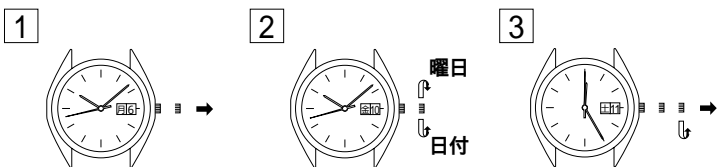
次に、秒針が12時の位置にきたらリューズを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。)  
今日の日付になるまでリューズをまわして針を進めてください。

この時計はリューズを2段階に引き出せます。



時計の機構上、午後9時~午前3時の間に日付を合わせると、翌日になって変わらないことがあります。この時間帯での操作はできるだけお避けください。

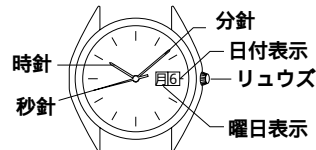
<日付 / 曜日 / 時刻の合わせ方>



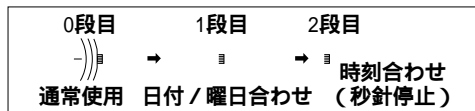
3. 日付 / 曜日両方の表示つき時計の場合

日付表示のない時計の場合は4ページをご覧ください。  
日付表示つき時計の場合は6ページをご覧ください。

<各部の名称>



この時計はリューズを2段階に引き出せます。

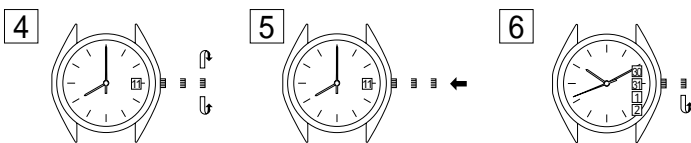


時計の機構上、午前0時~午前1時の間、日付 / 曜日の修正ができない場合がありますが、故障ではありません。この時間帯での操作はできるだけお避けください。

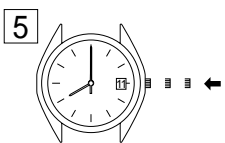
最初に、日付 / 曜日を合わせます。リューズを1段引き出します。(秒針は動いています)  
**ネジロックタイプのモデル**はリューズを左に回してネジをゆるめ、リューズを1段引き出します。

リューズをまわして合わせたい日の前日の日付 / 曜日にセットしてください。リューズを左まわしするごとに1日ずつ、また、右まわしするごとに曜日が1曜ずつ和 / 英をくり返しながら進みます。

次に、秒針が12時の位置にきたら、リューズを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。)  
今日の日付 / 曜日になるまで、リューズをまわして針を進めてください。



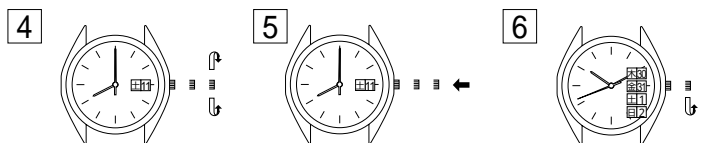
日付は24時間で1日変わるように設定されていますので、午前 / 午後を間違えないようにリューズをまわして時刻を合わせてください。  
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。



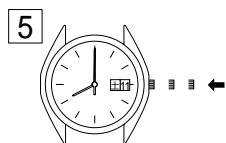
時報と同時にリューズを0段目まで押し込んで完了です。  
**ネジロックタイプのモデル**はリューズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。



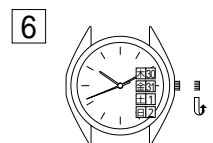
この時計の日付表示は1日~31日までとなっています。小の月(2,4,6,9,11月)の場合は、月末又は月初めに1,2の要領で日付変更の調整をしてください。



日付は24時間で1日変わるように設計されていますので、午前 / 午後を間違えないようにリューズをまわして時刻を合わせてください。  
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。



時報と同時にリューズを0段目まで押し込んで完了です。  
**ネジロックタイプのモデル**はリューズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。



この時計の日付表示は1日~31日までとなっています。小の月(2,4,6,9,11月)の場合は、月末又は月初めに1,2の要領で日付表示の調整をしてください。

<日付 / 曜日の瞬間送りについて>

機種9F62・9F82(日付表示つき) 9F83(日付 / 曜日表示つき) の場合、通常運針に午前0時00分~午前0時05分間の瞬間時に日付 / 曜日が変わるように設計されています。(通常のクォーツ時計は午後9時~午前3時の間に徐々に表示が変わるように設計されています。)

うるう秒について

普通1日は標準時間で86,400秒ですが、86,401秒になることがあります。これは、地球の自転の誤差による時刻のくずれを補正するもので、これを「うるう秒」と呼びます。「うるう秒」が実施されると、時計が標準時間に比較して1秒進みになりますので、時刻を修正してください。  
「うるう秒」は、世界各国の天文台の観測情報にもとづき、英国のグリニッジ天文台を中心として全世界いっせいに実施されます。  
グリニッジ標準時では、「12月31日」または「6月30日」の午後11:59~午前0:00が61秒間となります。  
日本の場合、時差換算すると、うるう秒がおこなわれる日は「1月1日」または「7月1日」で、日本時間の午前8:59~午前9:00の60秒間が61秒間となりますが、おこなわれないこともありますので新聞等でご確認ください。